

2014 年度 小委員会活動成果報告

(2015 年 2 月 10 日作成)

| | | |
|------------------------------|---|-------------------------------|
| 小委員会名 | 感性システムデザイン研究小委員会 | 主 査 名：柴田滝也 就任年月：2013 年 4 月 |
| 所属本委員会 (所属運営委員会) | 情報システム技術委員会 | 委員長名：三井和男 |
| 設 置 期 間 | 2013 年 4 月 ～ 2015 年 3 月 | |
| 設 置 目 的 各年度活動計画 (箇条書き) | <p>本委員会では、建築計画・環境工学と情報工学両分野が抱える問題を解消するために、感性による空間・環境デザインという分野横断的な方向性を狙いつつ、センシングも含めた空間・環境のあり方・支え方を提案することを目的とする。具体的には、空間・環境デザイン系と情報系の研究者を本委員会のメンバーとし、広く学会員へ啓蒙するため、相互の研究を紹介する場として活動を行う。</p> <p>2013年度：各分野でのセンシング技術を含めた計測技術を応用して、空間・環境から受ける情報に対して時系列文脈を計測し、感性による空間・環境デザイン研究を行う。</p> <p>2014年度：・初年度における各分野でのセンシング技術を含めた計測技術を応用して、空間・環境から受ける情報に対して、感性による物理的な空間・環境デザインに関する要素技術を構築する。</p> <p>・仮想的な情報空間および現実空間を繋げるためのコミュニティデザイン手法について研究会などを開催する。</p> | |
| 委員構成 (委員名 (所属)) | <p>委員公募の有無：無</p> <p>主査：柴田滝也 (東京電機大学) 幹事：林田和人 (早稲田大学)、猪里孝司 (大成建設) 委員：大影佳史 (名城大学)、加藤俊一 (中央大学)、岸本充弘 (Inflection Net)、齋藤篤史 (東洋設計事務所)、堤和敏 (芝浦工業大学)、松下大輔 (岡山理科大学)、宗本順三 (岡山理科大学)、宗本晋作 (立命館大学)、荻野晃大 (京都産業大)、多田昌弘 (近畿大学)、江川香奈 (東京電機大学)、山田悟史 (中央大学)</p> | |
| 設置 WG (WG 名：目的) | | |
| 2014 年度予算 | 120,000 円 | ホームページ公開の有無：無 委員会 HP アドレス： |

| 項 目 | 自己評価 |
|--------------------------------|---|
| 委員会開催数 | 3 回 (年度内計画を含む) |
| 刊行物 | |
| 講習会 | |
| 催し物 | <p>1. 第37回情報・システム・利用・技術シンポジウム ・小委員会企画OS「建築・人間のモニタリング」(スマート建築モニタリング応用小委員会と共同) 参加者数 25名 『第37回情報・システム・利用・技術シンポジウム論文集』所収</p> <p>2. シンポジウム「人を測り、そしてデザインへ結びつける」 参加者数 28名 『同名資料』(2015 年 3 月 6 日実施予定)</p> |
| 大会研究集会 | |
| 対外的意見表明・パブリックコメント等 | |
| 目標の達成度 (当初の活動計画と得られた成果との関係) | スマート建築モニタリング応用小委員会と共催で建築・人間のモニタリング技術を含めた計測技術についてのオーガナイズドセッションを企画し、人間・環境から受ける情報技術の利用方法について議論を行った。さらに、センシング技術を含めた計測技術から物理的な空間・環境デザインに繋がる要素技術を議論するために、シンポジウムを開催する。 |
| 委員会活動の問題点・課題 | コミュニティデザイン手法について研究会などを開催する予定であったが、その分野の専門家が委員にいなかったため、実施できなかった。 |
| その他 | |